

11月定例会【総括質問】

■ 山梨 渉 /【同性パートナーシップ制度について】【風水害対策について】



同性パートナーシップ制度の導入について質問。市長から「パートナーシップ制度の導入に向けて、安心して生活できる環境づくりを進める」と導入に向け前向きな答弁がありました。風水害対策については、台風19号の被害を受けて、駿河区西島地区のポンプ設置や清水区常念川の堤防高上げの実施、さらに、静岡市雨水総合排水計画の見直しを行い整備目標を決定するとの答弁がありました。マイ・タイムラインの啓発や水道施設の多くで浸水土砂災害が想定され、強靱化のための調査と対応策を講じるとの答弁もありました。

■ 加藤 博男 /【糖尿病重症化予防対策について】



静岡市国民健康保険における人工透析患者の割合を政令市で比較すると、人工透析患者は2番目に多く、現役世代の40~64歳では最も多く、若い世代への取組強化が必要であることを取り上げました。特に、糖尿病治療を中断している人に対し、レセプトデータを活用してどのように取り組んでいるかを質問。医療費適正化を目指し、治療を中断している方が重症化しないように、より効果的に働きかける必要があることを訴えました。

■ 山本 彰彦 /【働き方改革について】【食品ロスについて】



本年度施行された働き方改革と食品ロスについて質問。働き方改革では、職員の多様で柔軟な働き方を確保するためモバイルワーク勤務やフリーアドレスの本格導入を要望。また、業務の効率化のためICT技術「RPA」の積極的な活用と、周辺市町と連携したスマート自治体広域連携研究会を提案。そして、食品ロスでは、SDGsの目標である食品廃棄物の半減させることを受け、食品ロス削減に関する推進計画策定を要望いたしました。

※「モバイルワーク」とは、決められたオフィス勤務ではなく、時間や場所に縛られずICTを活用して柔軟に働く形態。
※「フリーアドレス」とは、一人ひとりが固定席を持たずに、自由に席を選んで仕事をスタイル。
※「RPA」(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは、定型業務をパソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代行・自動化する。

■ 長島 強 /【風疹対策について】



無料クーポン等で、抗体検査や予防接種が受けられるにもかかわらず、クーポン券利用が進んでいない現状に対し、本市ではどのような取組を行っているのか質問いたしました。当局からは、月1回、保健所での夜間検査を実施している、また企業に対しては事業所健診の際に抗体検査を受けるよう依頼するとの答弁がありました。私からは、休日や夜間で受けられる回数を拡充するなどのきめ細かな対応を行うよう要望いたしました。

【常任委員会】報告

■ 井上 智仁 【総務委員会】



総務委員会においては、職員等の給与改定、台風被害対策のために拠出した予備費、水防団入団における被成年後見人の入団制限見直し、来年度の宝くじ発売上限額などの議案が付託されました。予備費の活用に関しては議会の議決を必要としないため、用途が不明確であることから、予備費の活用の際は報告を行うよう要望を行いました。また、水防団入団用件の緩和により、団員の増員が期待できるが、個人の特性に見合った、活動が出来るよう配慮を求めました。

■ 大石 直樹 【都市建設委員会】



台風19号の襲来により安倍川緑地などが被災しましたが、えぐられた河川護岸の復旧や堆積土の除去、排水ポンプの復旧、また、道路では、路肩決壊や法面崩壊復旧などに関する事業の補正予算議案が審議されました。その他、非木造住宅・建築物耐震診断費助成に関する議案なども審議され、各委員より要望・意見が述べられました。表決の結果、都市建設委員会に付託された全議案は可決すべきものとして決定されました。

あなたのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

●公明党控室
〒420-8602 葵区追手町5-1
TEL 054-254-2111内線(4533)
直通TEL・FAX 054-254-2769
◆ホームページ
www.shizuoka-komei.jp
◆メールアドレス
komeito-shizuoka@iaa.itkeeper.ne.jp

●山本 彰彦
〒420-0876
葵区平和2丁目24-14
TEL・FAX 054-271-2244
携帯電話/090-1561-7775

●山梨 渉
〒424-0204
清水区興津中町1356-25
TEL・FAX 054-368-5540
携帯電話/090-3527-1272

●井上 智仁
〒422-8072
駿河区小黒2丁目10-40-304
TEL・FAX 054-287-2031
携帯電話/090-4239-7223

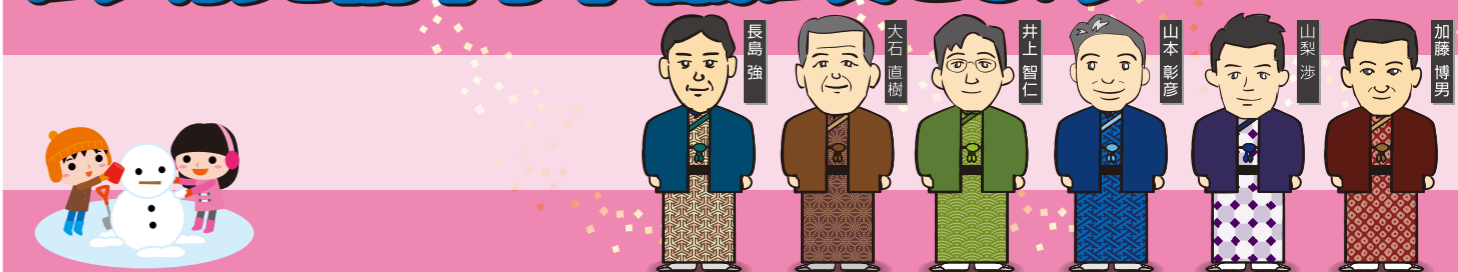
●長島 強
〒420-0961
葵区北2丁目3-19
TEL・FAX 054-659-5804
携帯電話/090-3578-2164

●大石 直樹
〒424-0928
清水区緑が丘町21-9
TEL・FAX 054-335-7012
携帯電話/090-1725-6633

●加藤 博男
〒421-0111
駿河区丸子新田292-20
TEL・FAX 054-269-6671
携帯電話/080-8267-2584

KOMEITO SHIZUOKA-CITY

公明党静岡市議会だより



【赤羽一嘉国土交通大臣へ要望書を提出】

12月10日、大口善徳衆議院議員、田辺信宏静岡市長とともに公明党静岡市議会は国土交通省にて、赤羽一嘉国土交通大臣に対し要望活動を行いました。要望事項は次のとおりです。

- ① 国道1号長沼交差点の渋滞解消に向けた対策検討及び主要地方道山脇大谷線の整備促進
- ② 国道1号富士由比バイパス蒲原～興津地区間の越波対策の強化
- ③ 一級河川安倍川の堤防強靱化と河床上昇対策の推進
- ④ 二級河川浜川下流付近における浸水常襲地域の対策促進
- ⑤ 清水港津波対策に係る整備促進(外港防波堤・防潮堤)



赤羽大臣からは、「激甚化する災害に対して、国だけでなく、県や市とも連携して取り組まなければならない。国として対応すべきことは対応する。」とコメントをいただきました。

公明党静岡市議会は、行政当局としっかり連携を取りながら、市民の安心・安全確保のため、防災・減災対策強化に向け、都市基盤整備に「ONE TEAM」で取り組んでまいります。

令和元年度11月補正予算 総額：34億7,835万円(一般会計：34億3,229万円)

●災害復旧対策	一般会計/26億5,597万円	水道事業会計/1,960万円	
★令和元年10月12日の台風19号の豪雨、暴風、高潮により被害を受けた施設の復旧			
・道路災害復旧事業	10億9,100万円	・体育施設災害復旧事業	5,426万円
・林道災害復旧事業	9億2,470万円	・公園災害復旧事業	4,300万円
・漁港施設災害復旧事業	2億2,350万円	・観光施設災害復旧事業	1,370万円
・河川災害復旧事業	1億8,130万円	・治山災害復旧事業	800万円
・農業用施設災害復旧事業	9,695万円	・水道施設災害復旧事業	1,960万円

●教育環境の充実 一般会計 4億1,770万円
★安心で快適な教育環境のさらなる充実を図るため、小中学校校舎トイレの改修を実施
老朽化が著しく衛生的な環境の保持が困難なトイレを清潔で快適なトイレに改修するための工事
および次年度工事のための設計(工事:小学校10校、中学校6校)(設計:小学校20校、中学校13校)



【令和2年度 予算要望の提出】



令和元年11月21日、令和2年度予算編成にあたり、公明党静岡市議会の都市デザイン2020「挑む！静岡市～未来の活力創生を見据えて～」をもとに、中長期の視点に立ち、69項目309本の要望を盛り込んだ予算要望書を提出しました。

Challenge I

人口減少に挑む！

【輝きと活力のあるまち】

1. 持続可能な経営基盤の確立
2. 防災・減災先進都市の構築
3. 活力ある地域経済の推進
4. 住み続けられるまちのための安心・安全な市民生活の確保
5. 共生社会の構築

Challenge II

少子化に挑む！

【子どもの希望が光るまち】

1. 結婚・妊娠から子育てまでの包括的な支援
2. 児童・生徒支援



Challenge III

高齢化に挑む！

【健康・活動寿命を伸ばすまち】

1. 地域包括ケアシステムの構築
2. 医療体制の充実



公明党静岡市議会が力強く推進!!

【おくやみ窓口】



静岡市の「おくやみ窓口」の特色

- ◆ 窓口の明確化
 - ◆ 申請書等の記載に対する負担軽減
 - ◆ 来庁者への付き添い対応
- 1 親族が亡くなった際の手続に関する支援
 - ・ 住所、氏名等をあらかじめ記載した必要書類を一括で打ち出し
 - ・ 関係課へ職員が同行して案内
 - 2 親族が亡くなった際の手続に関する事前相談
 - ・ 手続や持ち物等に関する事前相談

※ 1・2とも電話による事前予約も可

ご家族が亡くなった際の手続については、区役所や市役所で最大19課を回らなければならない、「どこに相談に行けばいいのか分からない」、「手続に時間がかかってしまう」、「何回も書類を書くのが大変」など、多くの市民から声が寄せられていました。

平成31年2月議会で加藤博男議員は、悲しみの中で対応を迫られているご遺族に対し、「おくやみ窓口」の設置など、ご遺族が窓口で行う手続を負担軽減していくことが行政に求められているのではないかと訴えました。市当局も、『おもてなしの市役所』を推進するため、手続相談や手続の迅速化に対するニーズに対応し、令和元年10月1日より各区役所に「おくやみ窓口」の開設が実現しました。

【NEXTワークしずおか】



少子化により社会全体で人手不足が深刻となる中で、地域や企業の新たな担い手として、シニア世代が注目されています。「人生100年時代」と言われる中、多くの元気なシニアの皆様が生涯活躍するための環境整備が求められています。静岡市ではさまざまなニーズに対応するシニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」を、令和元年6月18日に官民連携で設置しました。

これまでシルバー人材センターやハローワークなど色々な機関を回らなければ得られなかった情報を、この窓口で得ることができます。週に2、3日程度働きたい人や、フルタイムで働きたい人、あるいは再就職のための訓練を受けたい人といった、さまざまなニーズに対応できるよう、既存の就職支援・雇用促進施設や、民間企業などのあらゆる仕事情報が集まります。

【日本平久能山スマートインターチェンジ】



日本平久能山スマートインターチェンジが令和元年9月14日(土) 16時に開通しました。「日本平」と「久能山」を入れることで、このスマートインターチェンジが「日本平」・「久能山」周辺に位置することが明確に判断でき、観光地をPRできることで地域活性化に繋がることから、「日本平久能山スマートインターチェンジ」という名称になりました。

東名高速道路が利用しやすくなるほか、静岡インターチェンジ周辺道路の混雑を緩和させる効果が期待できます。また、救急医療活動での活用のほか、市内観光地や産業集積地区などへのアクセスが向上することで、地域の発展、活性化などの効果も期待されています。